

おもちゃの修理や環境人形劇

エコタウン 釜石でイベント フォーラムへ

この27日に釜石市で開催される市主催のエコタウンフォーラムへ向けたイベントとして18日、同市釜石町のシープラザ釜石におもちゃの修理コーナーが設けられたほか、環境問題を考える子ども向けの人形劇が上演された。

おもちゃの修理を行ったのは、北上市のボランティア団体「おもちゃの修理屋さん」。98年から家庭で壊れたままになっているおもちゃを引き取り、無料で修理する活動に取り組んでいる。

釜石への出張修理には、13人の会員のうち5人が参加。午前中だけで、乗り物や人形など20ほどのおもちゃが次々と持ち込まれ、手際よく修理にあたった。中には、懐か



おもちゃの修理屋さん
10:30~16:00 (受付15:00まで)
こわれたおもちゃはありませんか？無料で修理します！

しいプリキのおもちゃなどもあり、「ことういうおもちゃに出会うとうれしいですね」と会員ら。修理が終わったおもちゃを子

どもに返す際には、「これからも大事に使ってほしい」とお母さんもおもちゃの修理屋さん

平成 19 年 10 月 15 日 岩手東海新聞

ね」と声をかけ、ものを大切にすることを必要性を訴えていた。

一方、環境人形劇を上演したのはNHK大阪放送劇団出身の「ねぎぼうずSAYO」。幼稚園のPTAで上演したのをきっかけに人形劇を始め、89年からプロとして活動を再開。環境問題などを女性の視点から考える人形

劇を各地で上演している。

この日は、かわいい女の子と妖精の物語「コロタンとピーヒョロリ」を上演。2人が力を合わせて森のゴミの怪獣をやっつけるというストーリー。客席には、まるごと味覚フェスティバルに訪れた家族連れなどが詰め掛け、親子で環境

問題について考えていた。

27日のエコタウンフォーラムは、市が推進する「環境と産業が調和するまちづくり」に広く

理解を深めてもらうのが狙い。正午から市民文化会館中ホールで開き、エコタウン関連事業の紹介や未来を展望した講演会などがある。